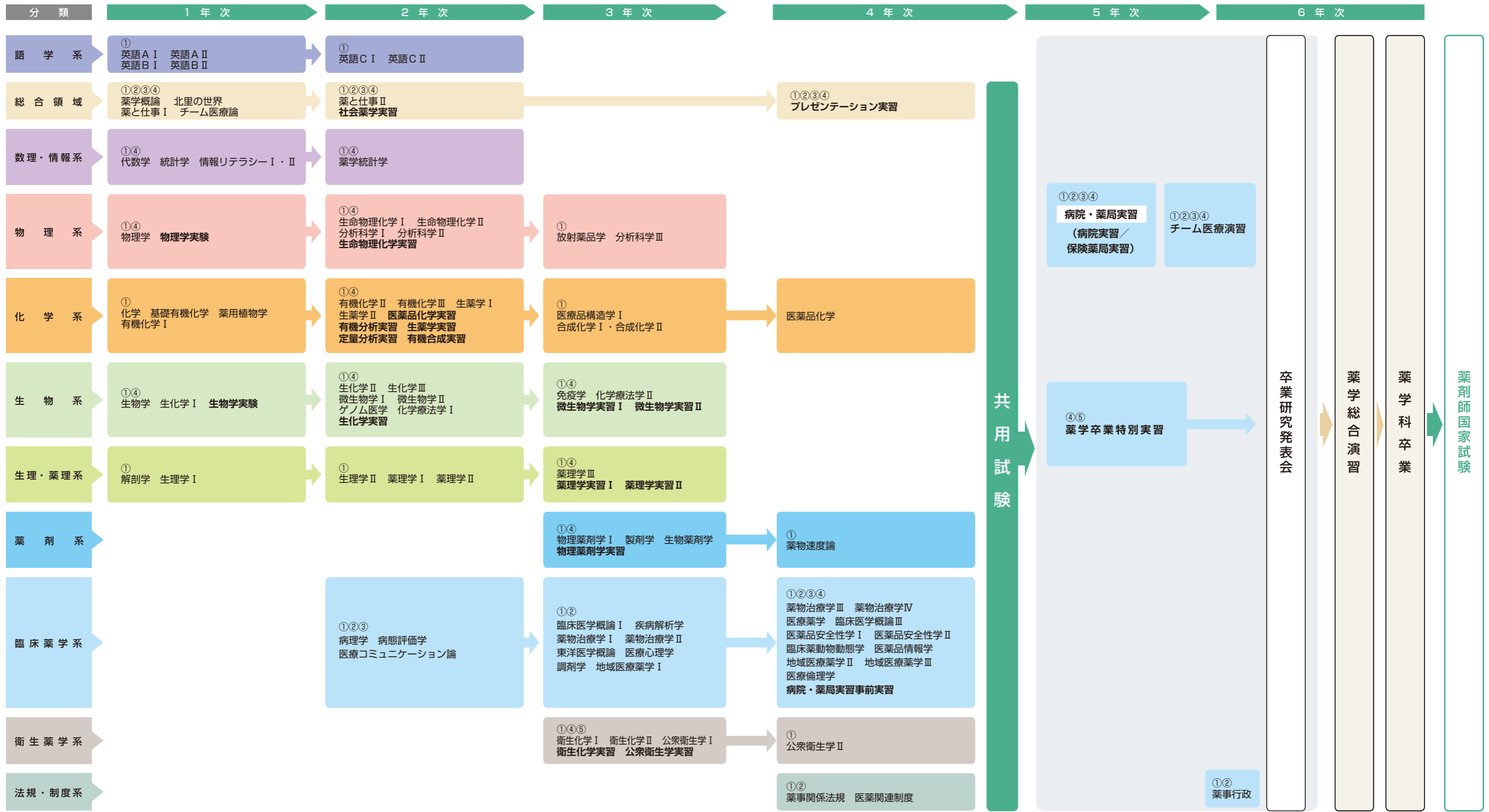


薬学科(6年制)のカリキュラム

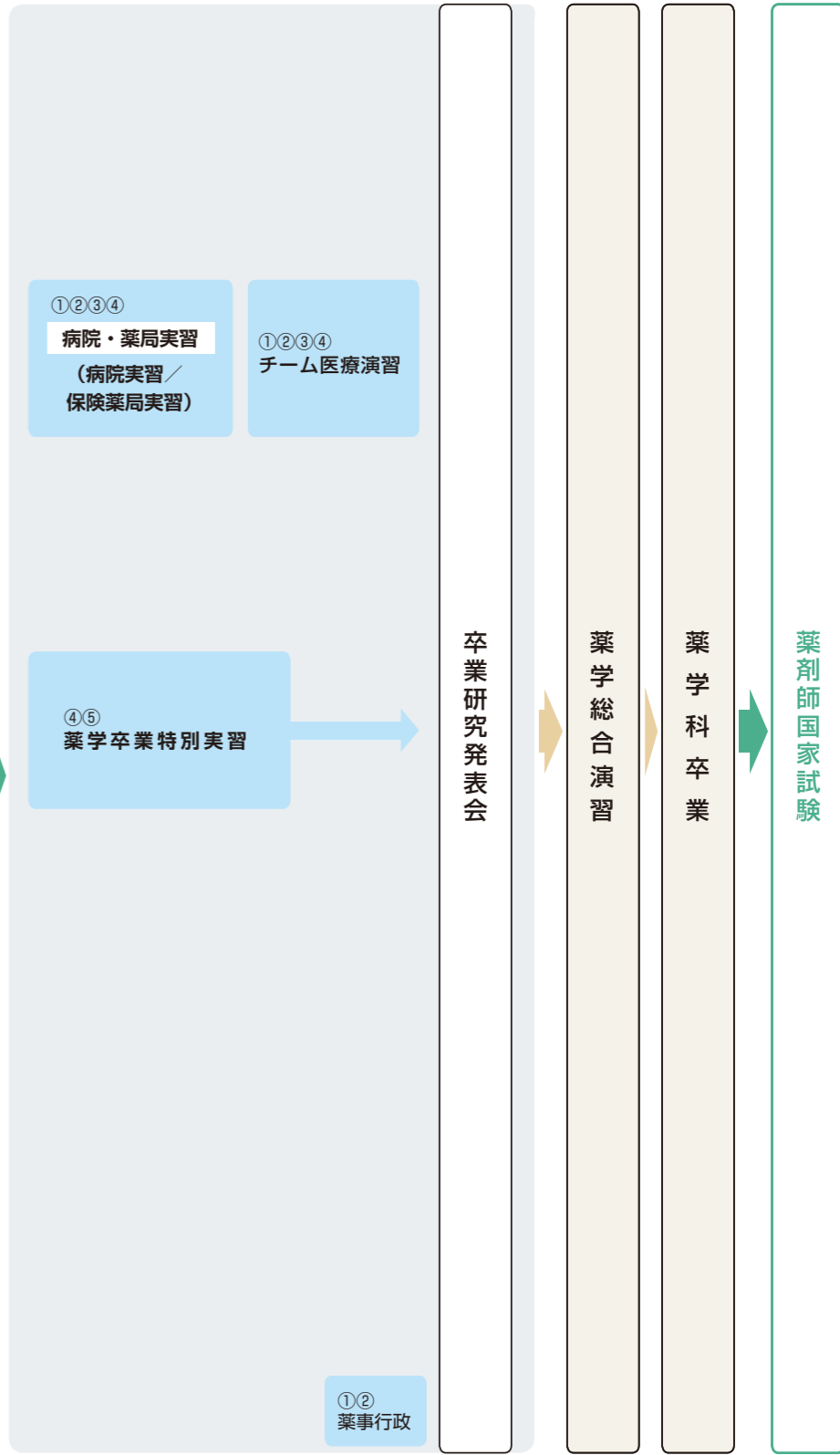
(2015年度以降入学生)

ディプロマ・ポリシー(DP)

- ①医療機関や地域で必要とされる高度な専門知識と洗練された技能を修得する
- ②医療人としての高い倫理観を有する
- ③チーム医療に資するためのコミュニケーション能力を身につける
- ④医療現場における問題発見・解決能力を持つ
- ⑤自己研鑽を継続するとともに後進を指導する意欲を有する



共用試験



薬学科の学びの特徴

医療人に必要な知識と教養を養う一般教育科目(1群科目)と、薬学の基礎を学ぶ専門科目(2群科目、3群科目)を学ぶ。
また、附属病院と連携して開講される、医療現場の早期体験実習やチーム医療に関する講義を学ぶ。

1年次 「生命物理化学」・「生化学」など薬学の基礎となる科目、「生理学」、臨床薬学系科目などを学ぶ。また、実習科目を通じて、研究に役立つ実験の手法や実験結果の解決法を身につける。

2年次 各分野でより高度な専門科目が開講され、臨床薬学系科目のウェイトが大きくなる。

3年次 薬学の専門分野に加え、病院・薬局実習(5年次)を前に、臨床系の科目および「病院・薬局実習事前実習」を学ぶ。

4年次 11週(病院)+11週(保険薬局)の「病院・薬局実習」を実施する。また、所属する研究室にて「薬学卒業特別実習」(卒業研究)を行う。

5年次 「薬学卒業特別実習」を6年次前期まで実施し、卒業論文を仕上げる。後期は、これまで学んできた科目をまとめ、総合力、問題解決能力を身につける。また、医療系学部との合同で「チーム医療演習」に参加し、職種間連携を体験する。